防災だより

消防本部防災対策課　電話：72-0131　〔第55号〕

～南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）発表時の事前避難について～

南海トラフの想定震源域やその周辺でM6.8以上の地震が発生した場合や、通常とは異なるゆっくりすべりが発生した場合、気象庁が『南海トラフ地震臨時情報（調査中）』を発表します。その後、専門家による検討の結果、『南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）』が発表された際には、次の地域に避難指示等を発令し、津波からの事前避難を求めます。

	事前避難対象地域	
	住民事前避難対象地域 （避難指示対象地域）	高齢者等事前避難対象地域 （高齢者等避難対象地域）
内海地域	網代、魚神山、油袋、家串、平碆	須ノ川、柏崎、柏
御荘地域		馬瀬（僧都川と蓮乗寺川の間にある地域）防城成川、赤水、高畑、尻貝、奥の谷、中の谷、高手、灘前、左右水、猿鳴
城辺地域	脇本、中玉、大浜、柿ノ浦、敦盛、岩水、垣内、東浜、中組、西浜、鼻前、鯆越、古月、日土、大寿浦、真浦、西真浦、新浦	
一本松地域	満倉	
西海地域	越田、弓立、小浦、樫月、船越、久家、下久家、樽見、大成川、小成川、福浦、麦ケ浦、武者泊、外泊、中泊、内泊	

南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒／巨大地震注意）が発表された場合、すぐに避難の必要のない方は、日常生活を行いつつ、日頃からの地震への備えの再確認や後発地震に注意した行動を取ることが重要です。
避難先については、町が避難所を開設しますが、知人宅や親類宅等への避難も選択肢のひとつとなります。



～あいなん防災士連絡協議会「活動だより」～

1 防災出前体験会

9月13日㈰、町と愛南おれんじの会共催の「防災出前体験会」が開催され、あいなん防災士連絡協議会からも幹事数名が参加しました。

愛媛県災害時要配慮者支援チームの一員であり、松山市の代表防災士を務める中村匡秀（まさひで）氏から『もし明日、災害が起きたら家族の“いつもの生活”をどう守る？』と題した講話をしていただきました。「災害が起きても生活は続く」という視点から、日頃からの備えや災害時の環境づくりについて学び、段ボール椅子や新聞紙スリッパの作成体験も行われました。

9月27日㈰には、町が準備している避難所用資機材の体験会を行いました。可搬型水循環シャワーキット（WOTA）等を実際に見ることで、参加者からは「被災の不安もあったが、資機材を見てイメージできた」「町が準備していることに安心したが、支援が届く前の1日・2日が自分にとって課題だと痛感した」という感想が聞かれました。



段ボール椅子作り



資機材体験

今回の体験会を通して、在宅避難という考え方やそれぞれの家庭に必要な備えを見直す貴重な機会となりました。

2 防災意識の向上を目的に講演会を開催

9月16日㈫役場本庁大会議室で、陸上自衛隊第14旅団の仲西勝典（かつのり）旅団長を講師に迎え、『災害における自衛隊と自治体との連携や四国を担当する自衛隊の活動』と題した講演会を開催しました。参加者からは「南海トラフ巨大地震が起きた際、愛南町には何日後に自衛隊が来てくれるのか？」という質問があり、仲西旅団長から「松山を1時間以内に出発し、迂回路を利用しながら愛南町を目指します。数時間後には到着する見込みで、数日後では無いので安心してください」という言葉がありました。

当日は、会員と町職員を合わせ76名が参加し、防災に関する知識や意識を高めるとともに、災害時における地域での協働の在り方について考える、大変有意義な講演会となりました。



講演会の様子



仲西勝典　旅団長

